



悠久会 埼玉支部 会報

新潟大学 工学部 同窓会

(第9号)

発行：悠久会 埼玉支部

発行者：支部長 田島富二夫 (子 43)

編集者：副支部長 大友 眞 (機 52)

発行日：平成 19年 5月 1日

悠久会 埼玉支部 総会(第13回)のご案内

拝啓 新緑の候、暖冬の季節も春が来ることを知り、里も山も確実に初夏の息吹を感じさせてくれます。支部会員の皆様におかれましては、仕事や趣味等に、日々精を出されていることとご推察申し上げます。

さて平成 19年度の悠久会埼玉支部総会を、下記のとおりご案内いたします。当日は、母校・本部ならびに近隣支部から、多数のご来賓をお招きいたします。皆様に懐かしく楽しいひとときをお過ごしいただけるよう、役員一同勤めてまいります。

ご多忙とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようお願いいたします。尚、準備の都合上、5月20日(日)までに到着しますよう、同封の葉書にてご出欠のご連絡を頂きたいお願いいたします。

敬具

記

- 1、日時 平成 19年 6月 2日(土) 12:00~16:00
- 2、会場 東晶大飯店
住所 さいたま市大宮区宮町 2 - 28 あじせんビル 3F
電話 048-644-0881
交通 大宮駅(新幹線・高崎線・宇都宮線・埼京線 等)
東口より徒歩 5分
- 3、式次第

第 部	総会	12:00~12:30
	母校・本部近況紹介 他	12:30~13:00
第 部	懇親会	13:15~16:00
- 4、会費 8,000円
(但し、新卒会員の方は無料、...ご招待とさせていただきます。)



尚、返信用葉書にはメールアドレスの欄がありますが、勤務先/ご自宅とも支部からのご案内を差上げて支障の無いアドレスをお書きください。(両方でもかまいません) 返信の宛先は、埼玉支部・副支部長(事務局長)の 蒲谷 繁一さん(応 52)です。

支部年会費 納入のお願い

埼玉支部の年会費は2,000円です。支部総会の案内や会報の作成・印刷他、連絡費用等に充当します。同封の郵便振替用紙をご利用ください(通常払込料金無料)。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証としてぜひご納入いただきますようお願いいたします。

退任のご挨拶

- ありがとうございました！ -

新潟大学工学部 前学部長
情報工学科 教授
仙石 正和（電 42）

まずは、工学部は、工学部同窓会から物心共にご支援して頂いております。この場をお借りして、感謝の意を表す次第です。平成 15 年 4 月から、平成 19 年 3 月まで、4 年間の任期を皆様に支えられて何とか無事、新潟大学工学部長、新潟大学工学部同窓会（悠久会）名誉会長を務めさせて頂きました。心から感謝の意を表する次第です。

平成 15 年は、法人化の前年でした。ある工学部の教員から、“仙石先生は、江戸城の勝海舟の役割ですね”と言われました。最初あまりその意味が分かりませんでした。工学部が江戸城に対応しているとう喩えは大げさでしょうが、国立という頑丈なガードに守られてきた国立大学が徐々にガードがはずされていく様子は、江戸時代末期の黒船によって鎖国が解かれ、外界に日本がさらされて行く様子と類似していたのかもしれない。平成 16 年 4 月からは法人となり、他の法人と同様に、国費の補助額が年々徐々に減少し、個々の大学の独自性・自己努力が求められはじめました。工学部も同様に、一層の独自性・自己努力が求められてきたと言うわけです。自己努力は、ある一面から平たく言えば、国からの補助の減少分を例えば競争的資金など外部から獲得して補填さらには拡充をすることです。

平成 15 年は法人化の前年でしたが、工学部にとって、創立 80 周年という記念すべき年でした。80 周年記念事業の募金活動などは 5 年ほど前から始まっていました。宇宙飛行士の毛利衛さんなどの記念講演を含む記念式典が盛大に行われましたことは記憶されていると思います。4 年間での皆様方に支えられて行ったことをいくつかあげて見ます。

- (1) 法人化への移行
- (2) 工学部創立 80 周年記念事業（記念式典，新潟大学科学技術悠久会館の竣工）
- (3) 特色 G P、現代 G P の採択
- (4) 概算要求「技術連携の推進と実践的教育プログラムの計画・開発」の採択
- (5) 工学部附属工学力教育センターの設置
- (6) J A B E E 受審（6 プログラム認定、1 プログラム認定待ち）
- (7) 環日本海の工学系拠点大学（ハルビン工業大学（中国）、大連理工大学（中国）、漢陽大学（韓国）、仁荷大学（韓国）と新潟大学工学部）との交流ネットワーク、第一回国際会議 Fusion Tech. を開催、2 年毎の継続開催予定
- (8) その他

やり残した難しい問題も多くあります。受験生を工学部に如何に引きつけるかなど緊急の課題を次の学部長に引き継ぎをさせて頂きました。

上記の中で、新潟大学科学技術悠久会館の竣工（3 月 21 日竣工式）は、同窓生の方々の悲願であったと思います。構想から募金、設計、建設と約 9 年半の月日が経ております。9 年半に工学部

では、斉藤義明学部長、長谷川富市学部長と私の3名の学部長時代が経過しました。この間、期成会の永井淳夫会長（同窓会前理事長）はじめ大変多くの方々のご支援があったればこそ完成に至ったものです。このような新しい建物を大学に寄付をしたことに対して、3月21日に新潟大学長から永井淳夫会長（内田力理事長が代理）に大きな感謝状が手渡されました。このような寄付の出来る底力のある同窓会は多くの学部同窓会の中でも僅かだと思います。

教育研究、人材育成を目的とする大学に、一般企業のような成果主義や競争原理が適用出来るとは到底思えませんが、グローバル化の中で最近の大学の環境の変化は大きなものがあります。高校生の減少、理系離れが、工学部への志願数の減少に繋がっています。科学技術立国を標榜する日本として由々しきことかと思えます。このような変化の時代にこそ、地に足が着いた大学が求められていると思います。

埼玉支部総会には度々お招き頂き、お邪魔させて頂きました。大変お世話になり、ありがとうございました。その際活発に支部活動をされ、母校を支えて頂いていることにいつも頭の下がる思いで、新潟に帰ってきたことが思いだされます。

最後に、大川秀雄新学部長を従来同様に支えて頂いて、今後も変わらぬ工学部へのご支援をお願い申し上げる次第です。

悠久会館 外観



竣工式典で挨拶される仙石先生



ご挨拶

新潟大学工学部 学部長
建設学科 教授
大川 秀雄

新潟大学工学部同窓会埼玉支部の皆様は初めてご挨拶申し上げます。仙石正和前工学部長の後任の大川秀雄と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。建設学科(土木工学講座)に所属しています。

新潟大学工学部の近況をご報告します。始めに、3月21日春分の日、めでたく創立80周年記念会館「新潟大学科学技術交流悠久会館」の竣工記念式典が催されました。翌日が卒業式であることもあり、工学部同窓会(悠久会)の各支部長さんをはじめとして多くの会員各位が全国各地から駆けつけて下さり、とても盛大に挙行されました。工学部同窓会本部の事務所もここに居を移すとのことですので、新潟にお越しの折はぜひ一度お立ち寄りいただければと思います。

次に、平成18年度の工学部卒業生は537名でした。言うまでもなく、学内9学部中で最大です。その中に3年間で卒業する、いわゆる早期卒業が1名ありました。なお、卒業生の約63%、340名が大学院へ進学しています。平成19年度入学者は、新1年生517名、高等専門学校等からの3年次編入生49名、合計566名でした。

ところで、平成15年に採択となった特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)の「ものづくりを支える工学力教育の拠点形成」(平成18年度まで)、平成17年度に採択された特別研究経費「技術連携の推進と実践的教育プログラムの計画・開発」(平成21年度まで)に続いて、昨年度は現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)の「企業連携に基づく実践的工学キャリア教育」(平成20年度まで)が採択されました。理系離れが顕著になっている現在、いかにして理系教育を、さらには工学教育を再構築して行くかが問われている中で、新潟大学工学部のこれまでの実績が評価されるとともに今後の取組が注目されているわけです。同窓会の皆様のお力と工学部の長い伝統を礎に、仙石前工学部長のご努力もあってここまで来ていると言えるかと思えます。それらを受け継いで更なる成果を出して行くことがこれからの課題だと認識しています。

最後に、去る1月17日から3日間、朱鷺メッセで国際シンポジウムを開催しました。交流協定を結んでいる韓国の漢陽大学、仁荷大学、中国の大連理工大学、ハルビン理工大学と新潟大学の5大学共催で開催したもので、工学教育に関する講演や討議も行われました。これには同窓生のご協力もいただいて結成されたばかりの「100人ネットワーク」(現代GPの一環)のメンバーからも加わっていただきました。

以上ですが、工学部同窓会(悠久会)からは、上記のことなども含め日頃から様々な面でご支援をいただいています。この場をお借りして心から御礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援とご鞭撻をお願いする次第です。終わりに、貴埼玉支部と皆様の益々のご発展をお祈り致します。

平成19年度支部総会にあたってのご挨拶

埼玉支部 支部長

田島 富二夫（子43）

支部会員の皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のことお喜び申し上げます。

大学が独立法人化となり、同窓会の活動も色々と新しい活動が行われています。

本年3月21日には同窓生を初めとした大勢の方や企業の寄付により悠久会待望の80周年記念事業の一つ、科学技術交流悠久会館が完成し披露され、祝賀会が開催されました。

東京イノベーションセンターでは新潟大学東京事務所を設立し、同窓会の活動と合わせて活発に新潟大学の講演が行われています。また、数十年前から活動している首都圏同窓会は新潟大学全学同窓会を先取的に活動し、全学同窓会の先駆的役割を果たしています。

また世の中の変化と共に同窓会がクレジットカードを発行するということまで行われるようになりました。

従来、大学は研究の場であり教育の場でありました。今でもこのことは変わってないことです。しかし、独立法人化と共に大学の運営が関係者の努力に大きくゆだねられることになる中、大学と企業との関係、いわゆる産官学共同が公然と叫ばれるようになりました。

群馬大学では去る3月に群馬大学工業会さいたま支部総会が開催され、新時代に対応した大学の組織再編を行っていることの報告があり、支部の活動も各種の工場見学や海外視察等も行ったりしつつ、会員間の結束を強めようとしています。そして『工学部発展のための支部活動を続けていくと共に、世代を超えて交流を図っていこう』としています。同大の工学部の活動では、近隣の園児、小中学生等を対象に、理科の楽しさを知ってもらう『テクノドリームツアー』といったことも開催しているとのことです。

新潟市は今年の4月1日に浜松市と共に全国で16番目の政令指定都市になりました。本州の日本海側で初めての政令市となったわけです。まさに日本海側の拠点都市としての役割が大きくなったといえます。その結果、新潟大学も拠点都市の大学として、その役割をおのずと高めて行くことでしょう。

しかし、大学のあり方や同窓会のあり方の変化と共に、最近読んだ論文で忘れられないことがあります。

それは、新潟大学工学部福祉人間工学科関根征士教授（3月に退官）の論文でした。

論文は『人生のコンパスと学問の座標軸』と題した講義の文章で、教授は、『特に、戦争では全ての科学技術が動員され、「勝つ」という価値が「命」を含む全ての価値に優先されるため、科学技術者の倫理は抹殺されることを痛切に感じている』と述べている点です。そして、また日本人として最初のノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹博士のことに触れ、アイシュタインがアメリカの原子爆弾開発のマンハッタン計画の提唱をしたこと、その結果、世界で初めて広島にウラン爆弾が、長崎にプルトニウム爆弾が投下され20万人の市民が瞬時に犠牲となったことに触れています。

1948年、湯川秀樹博士がアメリカでアイシュタイン博士に会った時、アイシュタイン博士はこの原子爆弾投下により大勢の日本人を殺傷してしまったことを取り上げて、『何の罪もない日本人を、原爆で傷つけてしまった。許して欲しい』と何度も湯川博士に言ったとのことです。

産学共同や官学共同等で基本的理念として必要なことは、これらの科学技術者の倫理観のように思われます。学問の研究と教育が真の科学技術の発展と社会の発展になることを期待し、これからの同窓会活動も、もの造りと大学の本当の意味での発展を願って活動を展開して行きたいと考えています。

以上

悠久会埼玉支部第13回総会に寄せて

首都圏同窓会 会長

大石 通明（精密 30）

悠久会埼玉支部第13回総会おめでとう御座います。

東京支部より埼玉支部が分離して早や13年経過した事実について、月日の速さにおどろいております。その間、歴代支部長のご尽力でかくも若手スタッフが充実され、他支部に見られないイベントが企画され、益々ご発展の様子をみるにつけ誠に御同慶の至りであります。

さて、悠久会の総会を考える時、4年程前だったと思いますが、埼玉支部の総会で他の学部にも呼びかけて行なわれた事がありました。私は大変感激いたしました。他の学部のOBに呼びかける企画は素晴らしいと感じました。参加された方は、確か少数だったと記憶しておりますが、是非、少数でも企画は続けていただきたいと思います。「続けることは、力なり」ではないでしょうか。

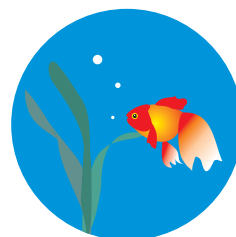
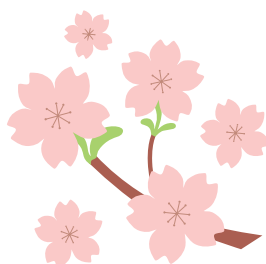
誠に申し訳ありませんが首都圏同窓会の情報をお知らせします。

- ・ 納涼大会は8月24日(金)新木場ログハウス
- ・ 第36回総会は10月19日(金)丸の内朝日東海ビル内東京ジョンプルの予定です。

特に総会の担当学部は工学部です。より多くの参加をお願いしたいと思っております。

話はグッと柔らかく思い出と成りますが、小生の運動としては多摩川の土手ヘサイクリングに行くことです。櫻は終わりましたが、花の咲く頃は見事です。又、四季折々の植物を見ては楽しんでおります。友人の話ですが「美しい物を見て感激する事は若さを保つ事である」と。又、時々水は綺麗になった多摩川でフィッシングをするのも楽しみの一つであります。釣りをしながら時々思い出される事は、(昭和27・28・29年頃)長岡の3年間、下宿生活の合間に釣りをしたことです。学校町から悠久山へ向かって悠久山街道を行くと、途中小さな堤の下を流れる小川を通過します。夕方、短い延べ竿を持って、ヤマベ・ヤマメを釣りに行ったことを思い出しました。昭和35年に他界した父親に教わった釣りが今でも私を愉しくしてくれています。ゴルフと併行してこれからも楽しみたいと思っています。

以上



「著述業の道は今なお険しい！」

- 田中光二 から たなか踏基 への道 -

埼玉支部 前支部長

田中 光二 (応 40)

小説家 著述業 (小説家と著述業は異なります)

平成 13 年 1 月の定年後以来、人様に配る名刺には著述業と印刷して参りました。平成 14 年 ~ 15 年に二つのホームページ (HP) を開設し、そこに小説や随想を、時に詠んだ俳句や短歌を掲載してきたからです。技術屋の端くれとして、昭和 40 年に工学部を卒業した私ではありますが、定年後に何故物書きとしての所業を続けているのでしょうか？

私は、今迄小説作品なら 20 編、随想録なら 50 編ほど HP に掲載済みです。「奇妙な ~ 」シリーズは、「 ~ 喫茶店」「 ~ 猫たち」「 ~ 紀行文」「 ~ フ - プ - 鳥」「 ~ 受精卵」と既に第 5 弾まで掲載済みです。出版は二つの異なる版元から 3 冊、「 ~ 喫茶店」「 ~ 猫たち」「 ~ 受精卵」何れも SF ともミステリーともつかぬ本を上梓しました。前二冊は舞台が松本、安曇野だったこともあり、NHK TV や地元マスコミの取材を受けて結構売れました。出版してみて分かったのですが、私の読者はどちらかと言うと男性が多いのです。今旬の話題、人工授精や代理母、高齢出産の女性向題材にした「 ~ 受精卵」(書き下ろし 400 枚、幻冬舎)では、「これは女性にうける！」と期待したのですが、現在までのところ前 2 冊ほどではありません。一番の理由は女性向けの広報企画面で弱かったのと、松本老舗書店鶴林堂の倒産、筆者の書体・文体、男性読者の離反、作者知名度が今一つ等々だったからと思われる。

現在次の第 6 弾として 500 ~ 枚ほどの作品「(仮)奇妙な琵琶法師」精力を傾注して執筆中です。基幹産業だった養蚕業を題材に、日本が何故斜陽になったのかを私なりに分析・取材して書いております。新たに専用サーバーを確保して、HP*) を更新しています。

私は懂れていますが、小説家になれないでしょう。私の尺度では、小説の印税と原稿料で暮らしが成り立つ人を小説家と解釈しているからです。私の場合、長編に挑戦して著述の方は順調に推移しているのですが、業となると、些かそれも覚束無い有様で「著述業の道険しい！」趣味の段階で止まっています。僅かばかりの印税が入りますが、それも取材費に消えてしまい生活の足しにもなりません。それを思うと内心忸怩たる思いです。

最近ある大手出版社の友人から、忠告を受けました。

「シニアで、文学賞に挑むのは止めなさい！編集者は年齢を見ただけで没にしますから」この言質に「今畜生！作品を読みもしないで」逆に意地張って執筆、怒りの焰を燃やしています。定年後に始めた「著述業の道は今なお険しい！」が当面続くのではないのでしょうか。

*) HP URL <http://www.author-touki.net>

新潟大学東京イノベーションクラブ

- 東京事務所を活用し大学と会員相互の連携によるイノベートを -

新潟大学東京事務所
客員教授
上野 彰 (電 37)

いつも悠久会埼玉支部の田島支部長初め役員、会員の方々にはご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、田島支部長から表題の件で原稿依頼を受け、投稿させていただきます。

新潟大学東京事務所は首都圏における学生の募集、学生の就職、産学連携、関連情報の収集・発信などの活動を行なう拠点として、平成16年7月に開設されました。

ご高尚のとおり、国立大学が平成16年度から独立法人化し、政府から運営交付金を受けて、この交付金は毎年1%削減され、自ら稼ぎ出しながら勝ち残る大学運営が求められています。また、最近経済財政諮問会議に経団連からの提言で、一律配布で年々削減されることに対して、オール沈没大学になる。各大学を評価し、大学の努力と成果に応じて交付金の配分を行なうべきとの事から、財務省は近々この検討を開始し、20年度から実施する方向との報道がなされています。

そのような背景から、大学の教育・研究・社会連携の戦略的改革が求められています。学生の広範囲からの応募による質の高い教育、広範囲に渡っての学生の就職と業界での活躍、研究の成果を地域・国内・国際的に貢献する事により、大学の知の連鎖により自からスパイラルアップする。

この大きな変革の中で、首都圏における多くの方々との連携が、弊東京事務所の重要な役割であります。その目的のために、イノベーションクラブが設立され、年3回の講演会・懇親会、大学説明会、産学連携の取組みおよび大学のシーズプレゼンなど実施をしてきました。今年2月に北越製紙(株)の三輪正明社長(応化43年卒)のご講演で「会社は誰のためにあるのか? 環境・技術など」熱く語って頂きました。

平成19年度も第1回講演会・総会・懇親会が5月12日(土)午後2時30分から開催されます。

また、毎月クラブ通信をメールにて配信をしています。ご希望の方は下記アドレスへ連絡を!

大学および会員相互の連携によるイノベートを目的に、是非ご参加下さい。母校との絆を太くしながら、母校の発展と同窓会の輪を広げる事になれば、相互の Give & Take で Win - Win になる事を願っています。

新潟大学東京イノベーションクラブのメールアドレス：r611004@cic.zam.go.jp

新潟大学東京事務所の HP：<http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/is/tokyoofficeindex.html>

です。JR 田町駅、地下鉄三田駅から芝浦口を出てすぐそばにキャンパス・イノベーションセンターがあります。その6Fの611号室が事務所です。(月～金曜日午後1時から6時まで事務員が勤務しています) お近くにおいでの際は是非お立ち寄り下さい。

埼玉支部および会員の益々の発展をお祈り申し上げます。

「ふれあい・さいたまウォーキング」活動報告

埼玉支部 副支部長

出井 道夫（機 52）

埼玉支部の恒例になりましたイベント「ふれあいウォーキング」の活動を報告致します。
過去一年間に、4回のウォーキング行いました。

第15回 武蔵丘陵 国営森林公園を訪ねる旅

期日：平成18年7月1日

梅雨空の下、緑が鮮やかな国営の武蔵丘陵森林公園を15名で歩きました。滑川町と熊谷市にまたがる、自然の地形をそのままに生かした広大な自然公園で、園内をほぼ半周のコースです。懇親会では東松山の名物、味噌だれのやきとりを堪能しました。唐辛子やんにくが効いたたれで、ビールに良く合いました。



第16回 鐘撞堂山から円良田湖を訪ねる旅

期日：平成18年10月14日

寄居の街や関東平野が一望できる、里山を訪ねました。参加者は12名でした。鐘撞堂山は戦国時代に、荒川を挟んだ対岸の鉢形城の見張り山として、異変が起こった時に鐘を撞いたことに由来する名です。山を下ってから円良田湖を半周し、最後は寄居かんぼの宿（金山温泉）で、一汗流しました。アケビや柿や栗の収穫もあり、秋の味覚に溢れた旅でした。



第17回 比企（小川町）の里山を訪ねる旅

期日：平成18年11月18日

晩秋の里山を巡る旅でした。参加は過去最多の16名になりました。低山ながら小川町の三つの山（金勝山・官ノ山・石尊山）を制覇し、最後に街中の造り酒屋（晴雲酒造）を回るルートです。途中、埼玉県最古の民家にも立ち寄りました。晴雲酒造では酒作り工程の説明を聞いた後、利き酒を楽しませてもらいました。山よりも酒屋がお目当ての参加者が多い、ウォーキングでした。



第18回 草加せんべいのルーツを訪ねる旅

期日：平成19年3月3日

早春の穏やかな日に、草加の街を11名で歩きました。せんべい発祥の地ですが、それ以外に皮革・染色産業も盛んなことや、過去に洪水に悩まされ治水事業が進んでいることなど、今まで知らない草加の一面を見ることができました。また、ちょうどひな祭りでしたので、歴史資料館では、明治時代や昭和初期の雛人形にも出会うことができました。参加者の皆さんのリュックは、せんべいのお土産でふくらんでいました。



埼玉支部では今後も季節毎に、「ふれあいウォーキング」を計画します。興味のある方・参加希望される方には、案内をEメールでお送りしますので、お気軽に下記アドレスにご連絡下さい。県外支部や他学部からの参加も大歓迎です。同窓生と気楽に歩いてみませんか。次回は6月を予定しています。

渡辺（化40）: watanaky@yahoo.co.jp 又は、出井（機52）: kwgid@pop.kcv-net.ne.jp

***** 支部・編集子からのお知らせ *****

昨年の第12回総会時に「眼鏡」をお忘れになった方はいらっしゃいませんか？
持ち主がわからない眼鏡が1つ有ります。黒ぶちの軽い老眼鏡と思われます。
心当たりの方はお知らせください。（今総会の受付に用意しておきます。）

今年度の悠久会・全国総会は、『上州 草津総会』です。

7月7日(土) 草津温泉「ホテル櫻井」

午後2時45分～講演会、午後4時～全国総会、午後7時～懇親会

詳しくは「時報 第110、111号」、「悠久会ホームページ <http://www.yukyukai.net/>」を
ご覧下さい。

「新潟大学カード」が、発行されます。

新潟大学の卒業生・教職員・在学生在を会員としたカードができました。

悠久会会員であれば、審査無しでVISAゴールドカードを手にする事ができます。

しかも、入会費無料・年会費永年無料です。

家族会員も、同じく無料で「ゴールドカード」に加入できます。

このさい、手持のカードを整理するのも良いかもしれませんね。

申し込み方法等、詳しくは「時報 第111号」をご覧下さい。

(全学)首都圏同窓会では、毎月第2水曜日に定例の有志懇親会を行なっています。

新潟大学の卒業生であれば、学部・卒年を問わず誰でも参加でき、午後6時半頃から三々五々集まり、午後8時半頃用事のある人から抜けていく、そんな自由な集まりだそうです。第2水曜日に集まるから『二水会』、お店に入ったら『二水会』と告げていただければ案内してくれるそうです。

「鍋茶屋」 03 - 3232 - 1111 新宿区歌舞伎町2 - 45 - 4

西武新宿駅脇の道を線路に沿って新大久保方向へ徒歩3分 右側(歌舞伎町側)

あの新潟で有名な(学生には入れなかった)高級料亭と同じ名前ですね！

第2水曜日夕方に新宿付近へお出かけの際は、ぜひお立ち寄りください。

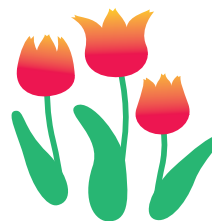
(参加費：5千5百円)詳しくは、大石会長(精30)へお問い合わせください。

電子メールアドレス：ooishi@h3.dion.ne.jp

お忙しい中、原稿を寄せていただきました、

仙石前学部長・大川新学部長・大石首都圏同窓会長・上野東京事務所客員教授 の皆さん
温かいお言葉を頂き、ありがとうございました。

さらなるご活躍を、埼玉支部一同、ご祈念申し上げます。



6月2日(土) AM12:00 「東晶大飯店」で、お待ちしております。